

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連		コンビニ（経営者）	・行楽に出かける客が多いので、乗客数も多くなるとみている。
		家電量販店（店長）	・エアコンなどの季節商材が好調に推移すれば、初夏から夏本番に向けて期待できる。
(北関東)		コンビニ（経営者）	・ここ数年の流れで、現状よりも3か月先の方が乗客数は増える。また、客の様子や行事等が増えるため、客単価も上がるとみている。
		コンビニ（経営者）	・2月末、近隣に同業他店がオープンした影響で、売上は多少落ちたものの、2～3週間で落ち着き、乗客数が戻ってきている。また、近くの工場では来月から多くの新入社員が入社する見込みである。
		コンビニ（店長）	・今月はかなり暖かい日が多く、それが裏目に出たのか、街の外に出ていく人が多かったようで、かなりの客数減であった。5月の連休等も同様の動きが予想されるが、乗客数の回復を願っている。
		衣料品専門店（統括）	・今でも景気が良くなった実感はないが、これから暖かくなり気温が上昇してくると客も動きやすくなるので、景気は段々良くなるのではないかと。
		乗用車販売店（経営者）	・ボーナス時期に向かい、受注増が見込まれる。
		住関連専門店（仕入担当）	・前年は天候不順だったので、平年並みの天候になるだけでプラスが見込める。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・靴の場合、来月は需要期なので2～3月よりは動きが良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・暖かくなり、花見など外出する人が増えると思われている。
		都市型ホテル（営業）	・来月以降大手企業の宴会自粛も解除される見込みである。また、学校PTA関係、歓送迎会、各団体総会等のシーズンになるのでやや良くなる。
		旅行代理店（経営者）	・ゴールデンウィークを控え、高額商品も売れるようになってきている。
		旅行代理店（所長）	・デスティネーションキャンペーンの効果が最大化する時期となるため、やや良くなる。
		ゴルフ場（総務担当）	・Webを活用した予約者数は前年同月比10%増であり、天候には大きく左右されるものの、上昇するとみている。
		商店街（代表者）	・個人商店では相変わらず乗客数が増えていない。現状、単価を落とさずにいる一方、仕入時の値引きはなくなっており、物販小売業の前途に明るさは見えない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・大型店同士で競争しているが、余り効果は出ていないようである。野菜が値下がりしてきたので幾らか動きが良くなってきているのではないかと考えているが、こんなに気候が不順だと客が余り外出しない。
		百貨店（営業担当）	・比較的堅調に推移してきた高額品や、復調傾向がみられた衣料品も動きが鈍化している。今年の春闘は、多くの企業で前年を上回る賃上げとの報道があるが、地方ではこのような明るい話題はほとんどなく、消費者の生活防衛意識は依然強いままである。
		百貨店（営業担当）	・生活防衛意識は変わらず継続するとみている。そうしたなかでも、必要とされる商材を切り口に努力を続けるしかない。2～3か月先も変わらないか、あるいはやや悪くなるのではないかと。
		百貨店（副店長）	・乗客数は増加傾向で明るい兆しがある一方、家計に影響を与える株価低迷など、景気動向の不安定さを懸念している。
	スーパー（総務担当）	・今後も母の日、父の日、ゴールデンウィークとイベント続きのため、異常気象にならない限り、売上、乗客数は前年を上回るとみている。	
	スーパー（商品部担当）	・商売の状況に変化が感じられず、厳しい現状がプラスに転じるイメージが湧かない。	
	衣料品専門店（販売担当）	・経済環境はもろろんのこと、客も様々な不安材料を抱えているようで、財布のひもはかなり固く結ばれている。良い要素が見当たらないので、残念ながらこのまま本当に店の存続も危うい状況である。	
	乗用車販売店（経営者）	・当地の産業の課題は、人手不足、原材料価格の高騰、上からのコストダウン要請などである。それが利益率の低下、資金繰りの難しさにつながっている。零細、中小企業の宿命なのかもしれない。	

	乗用車販売店（販売担当）	・今月に入って販売が落ち込んでいるが、4～5月納車の営業関係の予注も全く入っていない。車検は4～5月に比較的安定して入ってくるとみているが、今月より良くなる要素もないので、このまま変わらずに推移するのではないかと。
	自動車備品販売店（経営者）	・悪くなる材料もこれといってないが、良くなる材料も見当たらない。身の回りにインフラ整備や工場誘致など何もない地域では縮小傾向にあり、前向きさが薄れているようである。それほど悪くないにしても、周りの客にゆとりがなく、落ち着きもない様子が見受けられる。
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注残が減少傾向なので、今後も受注は減少する。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・このまま行けば、年内は新規出店した競合店の影響を受けながら、大きな好転はない。
	スナック（経営者）	・経費などで使ってもらえる客は増えているようだが、個人客、特に若い客などはお酒を飲む人が少なくなっている。
	都市型ホテル（スタッフ）	・現状、前年比100%程度で推移している。新年度となり歓迎会等は一旦落ち着くと見込んでいる。ゴールデンウィークが前半3連休、後半4連休と固まっているので期待したい。
	都市型ホテル（営業担当）	・数か月前に良くなる傾向が見えて、やや良くなると判断をしたが、現状はやや低調になっている。根本的に景気が上昇してこないことには良くなる。通常5～6月の稼働は低調だが、それは月の特徴であるので、判断としては変わらない。
	都市型ホテル（副支配人）	・ゴールデンウィークまでは、インバウンドや個人予約も多く入っており、好調だった前年並みの実績を記録できそうである。
	旅行代理店（従業員）	・景気は良くなりないうまで変わらない。
	タクシー運転手	・これからは歓迎会等も少なくなる。
	タクシー（役員）	・人手不足と乗務員不足による悪化の状態は変わらない。
	テーマパーク（職員）	・今月下旬に暖かい日が続き、梅や桜などの開花が早まりそう。宣伝時期と来客の動きに誤差が生じそうである。
	競輪場（職員）	・全国発売の特別、記念競輪レース共に、ほとんど売上の変化がみられない。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・報道などでも好転材料が見つからない。
	その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・依然として各テナント共に、来客数、単価等は横ばいなので、先行きも変わらない。
	その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・地方では、後継者不足等で閉店する老舗もあり、景気掲揚感には程遠い。
	設計事務所（所長）	・政局の混乱により、期待していた現政権に不安が募り、景気上昇は見込めないのではないかと。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・天候が良くなり多くの観光客が来ているが、観光客向けの商品を扱っていない店なので、なかなか売上にはつながらない。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・給料が上がらないのに物価だけ上がる傾向にある。
	コンビニ（経営者）	・周辺企業の景気悪化で、やや悪くなる。
	住関連専門店（店長）	・客単価と点単価が下降傾向である。
	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・各国の施策は、内向きのスタンスが強まってくると懸念され、そうした動きが為替や国内物価へ波及するとみられる。そのため、将来展望はやや悪くなる。
	都市型ホテル（経営者）	・近隣企業への販売減少が顕著で、前年比5%減が7年間継続している。
	タクシー（経営者）	・全体的に動きが悪いので、この先も悪い。
	通信会社（社員）	・サービスが、同業者と価格競争になっている。一旦、解約となると客が戻ってくることは難しい。
	通信会社（総務担当）	・新年度に代理店手数料の減額が見込まれているため、やや悪くなる。
	通信会社（局長）	・3～4月は人、物、金の流れが活発になる時期のため、景気は上向きに感じるが、景気全体では緩やかに悪くなるとみている。ガソリン価格の高騰で、薄利になる。
	美容室（経営者）	・サラリーマンは昇給が難しいと聞く。生活が苦しいと感じると新たに自分で起業する気にもなるのだろうが、商売をする側からすると、単純には言える話ではないが、毎月、固定給のもらえるサラリーマンが羨ましく感じる。
	設計事務所（所長）	・このところの問合せは、以前に関わった物件の改装がほとんどである。
x	コンビニ（経営者）	・現在でも来客数は減っているが、今後はイベントも徐々になくなるので、一層悪くなる。

		通信会社（経営者）	・戦後最長と言われる今回の好景気も、地方にはその余波が届くことなく終わりが見えてきている。日経平均株価と大企業にのみ恩恵が与えられるアベノミクスにもっと早く気付くべきだったのかもしれない。国有地売却関連の問題もあり、日米関係さえ危うくなってきている。これで将来の景気が良くなるだろうか。
	x	通信会社（経営者）	・1～3月の周辺景気を受け、新年度は更に追い打ちをかけられそうで厳しい。
	x	美容室（経営者）	・国有地売却関連の問題で政治が停滞することは対外経済関係に大きな損失である。アベノミクスの終えんは外国人投資家の売りがトリガーとなろう。
企業 動向 関連		-	-
(北関東)		金属製品製造業（経営者）	・新しい仕事が出るという話があちこちから来ているが、まだ具体的なことはない。見積段階でもないが、これから先に希望を持っている。
		金属製品製造業（経営者）	・4月以降、少し受注量が増えそうである。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車の北米輸出が、増加傾向である。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・太陽光発電所は新規稼働と、発電量が年間で一番多く発電する3か月になるため、やや良くなる。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・周囲で低迷が続いている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・引き続き受注は堅調で、下振れする要素が見当たらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新規取引先からの受注が始まったものの、売上に貢献するまでには、しばらく時間が掛かる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・この2～3か月はやや良い状況で経過しているので、今後も引き続き、変わらずやや良い状況で推移する。
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのまま推移する。
		建設業（開発担当）	・現政権誕生後、公共工事は順調に推移しており、今期は前年比100%で安心できる。当社受注も同5%増だが、建設業は不況業種で、いまだにボーナス支給ができない。作業員も高齢化が進み、若年層が就職せず、魅力ある業種になっていない。数多い課題の残る業種である。
		輸送業（営業担当）	・今後は気温も上がる方向で、パーペキュー等のレジャー用品、ガーデニング、園芸用品などの物量は前年並みに確保できそうな状況である。ただし、ドライバー不足等で協力会社のような車費も高くなっており、利益は少なくなりそうである。
		通信業（経営者）	・今のところ、変わる要素がない。
		不動産業（経営者）	・税金対策やこのあたりだと農地が維持できずにアパートに転用するという状況がある。そうした点で一時的に経済は上向くかもしれないが、入居する客の状況をみると、余り良いようにはみえない。
		経営コンサルタント	・新年度入りも地域的に特に目立った経済活動上のテーマはないので大きな動きはないとみている。例年と異なる動きとなった桜の開花に刺激され、各地の観光、外出に伴う個人、法人の消費需要に良い変化があるとよい。
		司法書士	・良くなるのも悪くなるのもみえないので、同じような状況が続く。
		社会保険労務士	・相変わらず消費意欲が弱く、小売業を中心に厳しい状況がしばらくは続く。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・現状の受注量から見ても、余り変わらない。
		化学工業（経営者）	・現状が継続することを願うものの、政治が不安定になりそうだと予想しにくい。影響は少ないと思いたいが、現状維持は厳しいのではないかとネガティブな思考になってしまう。
		電気機械器具製造業（経営者）	・メインの取引先からの仕事量が、4～5月と通常月の3分の1ぐらいしか現状では確保できていない。非常に苦しい。
		建設業（総務担当）	・新規工事の発注見通しをみても、件数が少ない。
		広告代理店（営業担当）	・ここ5年以上、新年度の販促実施状況が悪い。住宅や自動車販売業などの高価格帯商品を扱うクライアントの販促活動次第ではある。
	x	不動産業（管理担当）	・来年度からの年間契約で減額となる取引先や、取引の解消となるところがある。人件費支出が減少しているものの、売上減による利益への影響は大きい。いまだに契約金額の増額はるか前年並みがやっとで、減額や取引解消も増えてきている。

雇用 関連  (北関東)	-	-
	人材派遣会社（経営者）	・円高等の影響は出てくるか予測がつかないが、製造関係は在庫を含めて順調のようである。天候も安定してきているので、衣料や贈答関係の小売も安定基調である。ガソリン価格等の動きが不透明なものの、運輸、物流関係も伸びていくとみている。
	人材派遣会社（経営者）	・注文が多く、納入が100%できない。そのくらい忙しい。
	人材派遣会社（管理担当）	・ゴールデンウィーク前後の企業の生産計画が多く、派遣の問合せ等が多い。
	人材派遣会社（支社長）	・受注は好調でも紹介できる人がいないので、人選に限界がある。採用意欲が高いのは良いが、結果につながりにくくなっている。
	*	*
	職業安定所（職員）	・変わる要素が見当たらない。現状が続く。
x	-	-